

・扱いやすい車体重量、サイズ

国内人口の高年齢化に伴い、50cc スクーターに乗るお客様も、年齢が高くなっています。このような状況から、より軽量かつコンパクトな車両へのニーズが高まっています。それを踏まえ、年齢のみならず、性別や体格などを問わないより幅広いお客様に「私にも乗りやすい」と感じていただけるスクーターこそが、新世代のスタンダードスクーターとして欠かせない要素だと考えました。

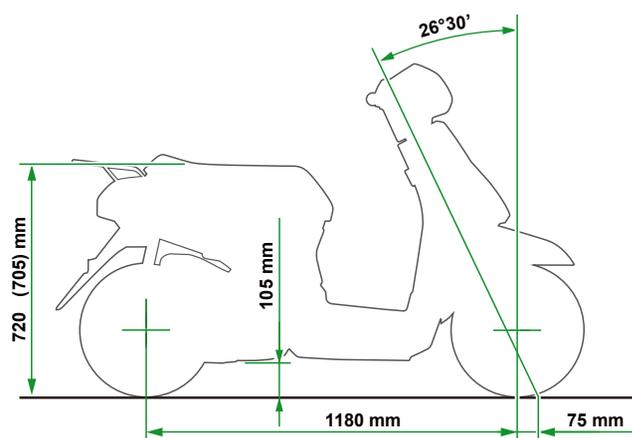
そこで Dunk で好評の水冷エンジン eSP と Dunk のスペース効率に優れたフレームボディを共用しながら、外装部品の構成をシンプル化することで車体重量を Dunk 比-2kg (タクト・ベーシックは-3kg) 軽量化。気軽に使えるコミューターとして良好な取り回し性に配慮しました。

・クラス No.1 の燃費性能

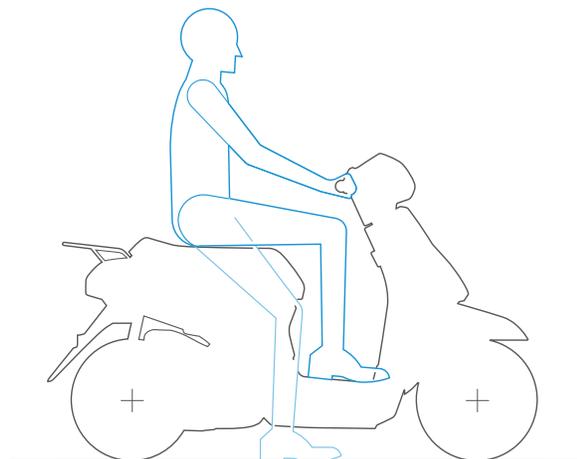
タクト、タクト・ベーシックでは、低燃費のエンジン eSP 搭載のみならず、車体側からも燃費性能向上にアプローチを図っています。前述の車体軽量化により、50cc スクータークラスとしてトップ*4 の定地燃費値 80.0km/L *5 を実現しました。

*4. Honda 調べ。2015年1月16日現在 *5. 国土交通省届出値：30km/h 定地走行テスト値

■ディメンション ()内はタクト・ベーシック



■ライディングポジション



■フロアスペース

